

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

2007~2008年度テーマ ROTARY SHARES — ローターは分かちあいの心 —
2007~2008年度 R.I.会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

SASEBO WEEKLY

会長・大神 邦明 幹事・中村 徳裕
事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場・佐世保玉屋8階（毎週水曜日） TEL 0956-23-8181

平成 19 年 10 月 3 日

第 2,811 回例会

NO 13

《本日》会員数 81 名(出席免除会員 23 名)・出席 49 名・免除者出席 13 名・欠席 9 名・ビジター 2 名・出席率 76.54%

《前々回》会員数 81 名(出席免除会員 23 名)・出席 48 名・メイクアップ 13 名

修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 大神 邦明君

先週の観月会は天気が良く、素晴らしい月を見る事ができました。日頃、月をじっくりと見ることのない私達にしてみれば、いい機会に恵まれたと思います。



ところで、「かぐや」の続編を申しあげたいと思います。地球から月まで38万kmですが、「かぐや」は9月14日から20日後、明日10月4日、月周軌道到達、単純な計算では時速792km/hです。

10月9日 25日後 リレー衛星を分離、これは地球との通信の中継衛星で、特に月の裏側で直接通信が出来るのは初めての事です。

10月12日 28日後 VRAD衛星。これは探査衛星です。

10月19日 35日後 月観測軌道到達

12月中旬 3ヵ月後より月の観測開始

10ヵ月後 マイクロバスの大きさ、長さ5m、巾2m、高さ2mとなり、月を10m単位区分でステレオ撮影。レーザーで標高を測り、立体地形図を創る。

撮影(ハイビジョン)、赤外線、X線、ガンマ線で、元素、鉱物の分布調査。強力な電波でエコー診断し、地下数キロの構造調査、月誕生の真相を解明するとの事です。

〈理事会報告〉

1. 新会員研修会及び歓迎懇親会について
平成19年11月14日(水)
新会員の方の参加は是非お願いします。
また、この機会に会員の方も是非参加をお願いします。
2. 地区大会選挙人選定について
7月1日会員数80名は、選挙人3名選定会
会長 大神 邦明 会員
幹事 中村 徳裕 会員
副幹事 有蘭 良太 会員
3. 出席規定適用免除申請について
森 信正 会員
2007年10月18日 63歳
在籍23年7ヵ月 合計86年7ヵ月
4. クラブ資金運用について
資金運用委員会
委員長・会計 橘高 克和 会員
会長 大神 邦明 会員
パスト会長 池田 豊 会員
" 福田 金治 会員
幹事 中村 徳裕 会員
運用が始まりました。

例 会 記 録

- 国歌「君が代」
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 卓話者 古賀 純一様
- ビジター
佐世保南RC 前田 力弘 君
池田 友己 君

幹 事 報 告

幹事 中村 徳裕 君

1. 国際ロータリー
RI国際大会 電子会報 第8巻 第1・2合併号
2. 第2740地区ガバナー 野口 清 君
2008年国際ロータリー年次大会（ロサンゼルス）2008年6月15日(日)～18日(水)
大会参加のご案内（仮登録のご案内）
仮登録締め切り日 2007年10月31日(水)
3. (財)ロータリー米山記念奨学会
理事長 板橋 敏雄 君
事務局長 坂下 博康 君
米山月間用資料送付のご案内
①米山奨学事業・豆辞典…全会員へ
②米山学友の群像 第2号…クラブ1部
③クラブ米山奨学委員長用手引書（寄付マニュアル合併）…クラブ委員長へ1部
④統計・資料…クラブ1部
⑤2006年度 決算報告…クラブ・委員長各1部
4. 地区ローターアクト委員長
大島 隆 君
提唱 鹿島ロータリークラブ会長
幸尾 孝之 君
地区ローターアクト代表
折敷瀬亜紗美さん
鹿島ローターアクトクラブ会長
片瀬 直子さん

インターシティミーティング実行委員長
池田 哲平 君

ローターアクトインターシティミーティング
のご案内
日時／2007年10月28日(日) 点鐘 9:00～
会場／高津原コミュニティーセンター
かんらん
登録料／1,000円

委 員 会 報 告

■親睦活動委員会 副委員長 木村 公康 君

先週の観月例会には多数の方々のご出席ありがとうございました。皆様には中秋の名月とおいしいお酒を堪能していただけたと思います。観月例会が終わったかと思いきや、もうクリスマス家族会の準備です。次回10月10日例会終了後、委員会を開催しますので宜しくお願いします。



ニコニコボックス

親睦活動委員会 委員長 加納洋二郎 君

立石 徳雄 君、安福鴻之助 君

古賀純一さんの卓話を楽しみにしています。渡米される以前から、帰国されたら卓話をと期待していました。今後の予定は未定とありますが、出来れば再入会してください。

大神 邦明 会長、加納洋二郎 君

福田 金治 君、橋高 克和 君

西村正一郎 君、岡 英樹 君

森 信正 君、高橋 章文 君

山下 登 君、増本 一也 君

久々の古賀純一さんの登場、心より歓迎致します。卓話期待しています。

田中 龍治 君

10月5日に娘が誕生日を迎えます。最近は、大人っぽくなっていくのは嬉しいんですが、

段々と会話が少なくなるのはさみしい限りです。

玉井 晃君

アメリカの国立公園巡りをしてきました。家内とのレンタカーでの3週間。16カ所の公園を廻ってきました。自然を満喫しようとメディアから離れている間に首相交代にはびっくり。



ニコニコボックス	本日合計	14,000円
	累計	284,000円

ロータリー3分間情報

文献記録委員会 山下 登君

今日は、台南ロータリークラブの訪問の思い出をお話します。

佐世保ロータリークラブと台湾の台南ロータリークラブとは、「姉妹クラブ」ということですが、そういう関係になったのは、当クラブに以前おられた松永市郎会員さんが、戦前台南におられた13歳の時、病気をされて17歳の看護婦の「オネエチャン」に命を助けてもらったことがきっかけとなっています。詳しいことは、友廣嘉久先生が出された「私のオネエチャン」という、小冊子に載っています。

その後、高橋章文さんが会長で、私が幹事の時、台南ロータリークラブ30周年記念式典に、奥さん同伴で10数名行きました。その時の写真の中に、当時のメンバーであった親和銀行の吉富勝次専務さんや古賀克己常務さん方も一緒に写っておられた写真があって、大変なつかしく思います。



そして、私が会長の時（1994～1995年）、台南ロータリークラブ40周年、並びに台南ロータリークラブ姉妹クラブ締結25周年で、台南ロータリークラブに行きまして参りました。それもなつかしい思い出です。

その時に幹事をされていたのが、本日卓話をされます古賀純一さんで、大変楽しみにしております。

卓 話

「私が見たアメリカーコミュニティESL」

元会員 古賀 純一様

1982年6月～2002年12月
20年間在籍



アメリカにはコミュニティESLと呼ばれる英語教室が小中高校や図書館などに設置され、学校とボランティア組織などの協力で運営されています。生徒は主に移民や避難民の人達で、彼らが一日も早くアメリカ社会に融けこみ、生きていく為の英語指導がその目的です。従って、TOEFLスコアの足りない国際留学生のための大学のESL教室とは当然ながら内容も雰囲気も全く違ったものです。2006年の春と秋にそれぞれ2ヵ月ずつ、ポートランド市内にあるそうした教室での授業を受け持ったことが、今回の滞米期間中の最も印象深い活動です。

2003年3月から2007年7月まで、4年4ヵ月アメリカ合衆国オレゴン州に滞在し、ポートランドステイトユニバーシティ（PSU）でTESL Certificate（第二言語としての英語教授課程）を修了し、続いて1年余りの間、第二言語教師（英語、日本語）として現地で活動しました。

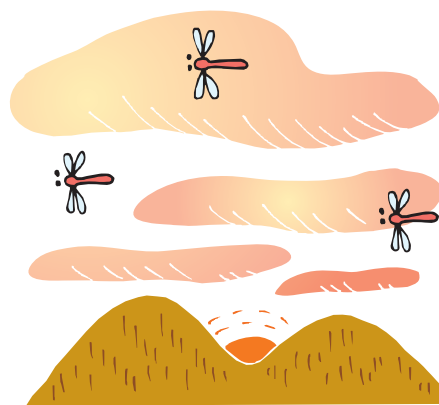
渡米の目的は、日本で23年間、小中高生対象に英語を中心とした塾を主宰し、試行錯誤しながらやってきた自分の英語指導法を、アメリカのものと比較検討し、併せて自分自身の英語力そのものも伸ばしたいということが

ひとつ。今ひとつは、主としてロータリーやその国際青少年交換プログラムに影響され、異文化理解がいかに今後の地球にとって大切であるかということに目覚めたものですから、多文化国家アメリカでその現実に更に深く触れてみたいということでした。これについては、大切というよりもむしろ不可欠という言葉に置き換えるべきだとその後気付きました。

2006年春のマーシャル・ハイスクール・コミュニティESLは教師としてのアメリカ初体験で、大学の実習を兼ねたものでした。夜の6時から8時まで週2回2ヵ月間教え、週1回2時間の学部のクラスで約10人の教師仲間と担当教授で英語指導法についての討論・研究をしました。当然、毎回の授業には事前の準備が必要ですし、授業の前にはその週のテーマに沿った結果報告をメールで提出しておかねばなりません。また、学期末までには総合報告書の提出が義務付けられています。更に、コミュニティESLの教室は学校外にありますから、移動にバスで往復2時間以上はつぶれますし、帰宅は夜11時です。これによってもらえる単位は、週4時間の授業でもらえる4クレジットです。

このように、アメリカの大学の授業は、まず教室の外で個人もしくはグループで準備をして、教室では、様々な形の討論や活動を通して新しい発見のための努力をする、というものが殆どで、講義形式は稀でした。従って、当然教室の中での勉強よりも、準備時間のほうが長いということになり、アメリカの大学は入るのは簡単でも出るのが大変、という声をよく聞くのはこうしたことによるものだろうと思いました。

しかし、指導する先生方はとても親切で、オフィス・アワーと呼ばれる質問やアドバイスの為の時間をとることが義務付けられていますし、メールで質問すれば迅速に返事してくれる先生が殆どです。ですから、食いついてさえいけば何とかかなるとというのが実感で、同時に、アメリカの大学教育の強さはこの辺にあるのかなとも感じました。



次回例会予告

卓話 米山奨学生 リンキンギ 林欣儀さん

(今週の担当 芹野 隆英)

クラブ会報委員会

委員長 山下 尚登
副委員長 芹野 隆英

委員 黒木 政純・溝口 尚則
金氏嘉一郎・松尾 慶一